「津波から地区住民全員の命を守る避難マニュアルの作成」

（「向こう三軒両隣」により避難漏れをなくし、「黄色いタオル」で安否確認）

国見地区自主防災組織連絡協議会

◇活動内容

国見地区は、前方は海、背後は山という海岸線特有の地形の中に集落が点在しています。国見地区自主防災組織連絡協議会は、東日本大震災時の津波大災害を教訓に地区独自の津波避難計画を盛り込んだ「福井市国見地区災害時避難マニュアル」を市の他地区に先駆けて作成しました。

マニュアルは完成までに約２年の歳月を要し、その間も高台への津波避難の実施検証を繰り返し行なうとともに「向こう三軒両隣」を旨とした共助の精神を基本として、「グループ避難方式」を確立することで避難漏れを無くす取り組みを行っています。

◇避難マニュアルのポイント

・このマニュアルは国見地区の地形、人口、地域の様態等の実情を隈なく取り入れ、地域が主体となり作成しました。

・避難に際し「向こう三軒両隣」を旨とした「グループ避難方式」をとっており避難時の人員の把握や未避難者を早期に把握することができます。

・避難漏れをなくすための取り組みとして、また安否確認用の「黄色いタオル」を配布しました。

津波訓練の避難状況

避難訓練後の振り返り

避難表示済（玄関先にタオルをかけた状況）

避難マニュアル